

# 白と緑の

## アスファルト舗装

し ばしば高知県内の舗装は白っぽい  
と言われる。地元に住んでいるとこ  
れが普通なのではと思うが、県外ではそう  
ではないらしい。また、県外に住む知人に聞  
くと、この白っぽい舗装は雨の日には滑りや  
すく、バイクで走行中に滑って痛い思いをし  
たことがあるとのこと。

高知県では、石灰石が特産品であること  
などから、石灰石をアスファルト混合物の  
骨材として広く使用していることがある。

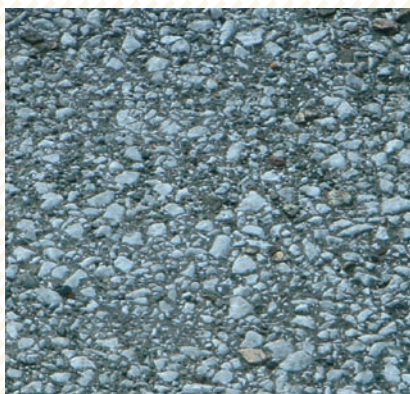


写真1 石灰石を骨材とした白っぽい路面の表面

舗装の白っぽさは、この石灰石の白さによ  
るものである。そういえば、子どもの頃、道  
ばたに転がっている石灰石をチョーク代わ  
りとして、舗装したての黒っぽい道路に白  
線で落書きをして遊んだ記憶がある。

この石灰石をアスファルト混合物の骨材  
として使用する白色系の舗装(石灰石骨  
材舗装)は、最近ではあまり見ないと思い、  
高知県土木部道路課に問い合わせしてみた。  
すると、2000年に『アスファルト舗装材  
料としての石灰石使用について(通知)』が  
なされていた。アスファルト混合物の骨材に  
石灰石を使用した場合には、舗装後骨材が  
表面に露出するとすべり抵抗値が早期に  
低下することから、1車道のアスファルト舗  
装を施工する工事において、表層のアスファ  
ルト混合物における骨材として石灰石は使  
用してはならない」として、現在では石灰石  
は使われていないとのことであった。国交省  
(当時は建設省)においてすでにアスファルト  
混合物における骨材としての石灰石使用



を禁止していることや、石灰石を使用し  
ている高知県内のプラントが少数であること  
も使用禁止とした理由であるとしている。

もう一つ、高知県内の、特に山間部の舗  
装色に緑がある。四国山地中央部には緑  
色岩が分布しており、この緑色岩をアスファ  
ルト混合物の骨材として使用した場合に、  
舗装が緑色となるわけである。

高知の山間部を車で走行していて、白色  
系と緑色系、そして普通の暗灰色系の3  
色のアスファルト舗装が重なっている道路に  
出合った。交通量の少ない山間部の道路は  
部分的改修を繰り返している箇所が多く、  
この場所では石灰石骨材舗装の補修とし  
て、緑色岩骨材舗装と、普通骨材舗装が継  
ぎはぎで実施されていた。まさに、3色舗装  
であった。

近年では、色調豊富なカラー舗装が全国  
各地で実施されている。しかし、これらのほ  
んどは混入する顔料の色であると思われる。  
地域資源の骨材の色が、舗装の色になっ



写真2 補修工事によるカラフルな3色舗装

ている事例は少ないのではないだろうか。  
高知県では、年々、白っぽい道路が減少し  
ている。さらに現在は、緑色岩プラント業  
者の廃業により、緑色の道路も徐々に消  
えつつある。高知県外の方が不思議がる  
色をした舗装は、近い将来にはなくなり  
そうである。ただ、高知は広く、山間部に行け  
ばまだしばらくは3色舗装が楽しめるそう  
である。

### 参考文献

(1) 高知県土木部長…アスファルト舗装材料として  
の石灰石使用について(通知)、2000年8月10日

### 山中稔 元・編集委員

(取材協力…高知県土木部道路課)